













加古川市立
漕艇センター



地方のさらに地域はどう創生すべきか？
加古川市の一地域を通して考えてみる

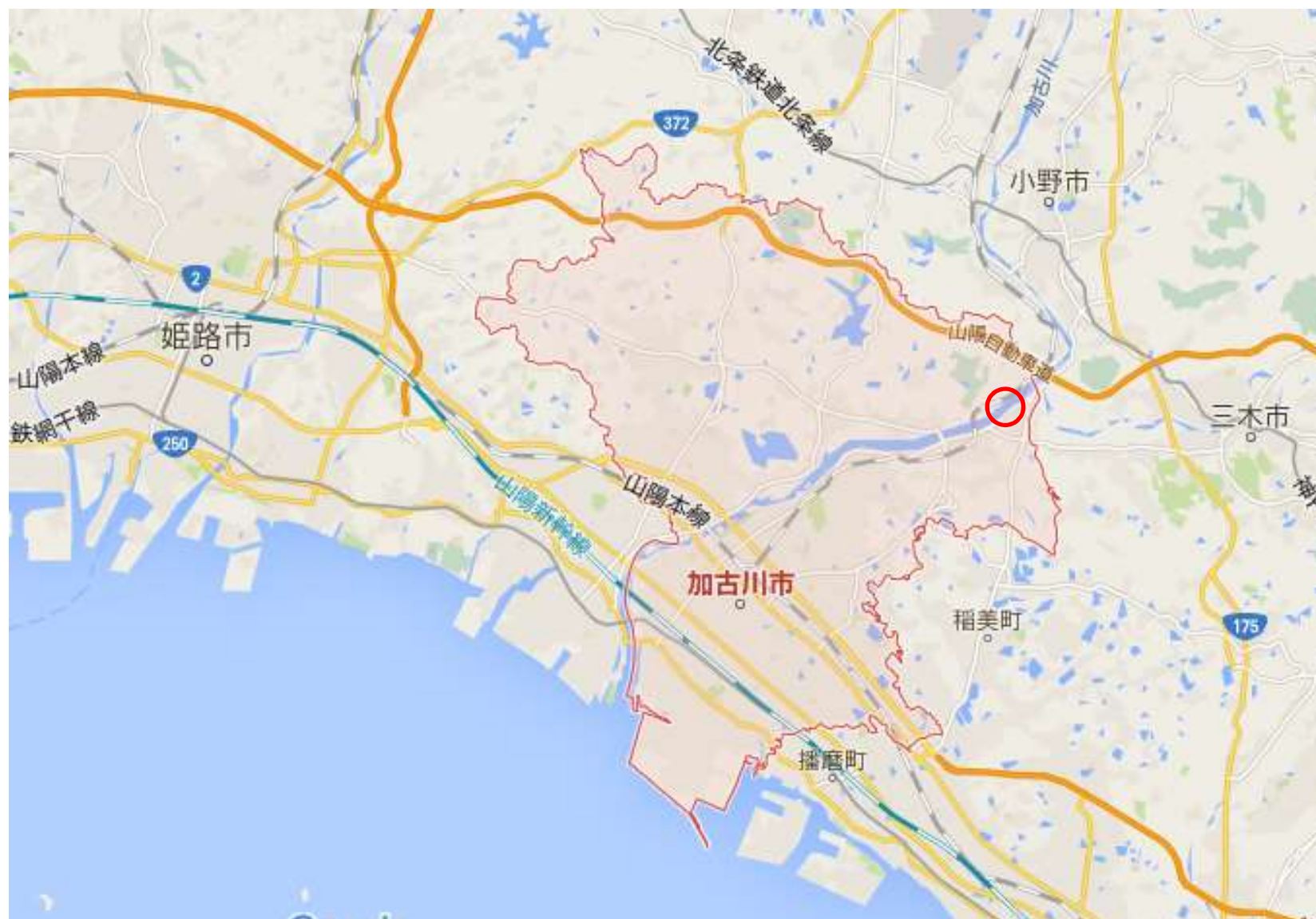
人口1000人の町
歴史的背景と町の現状
人口減少を数字で見る
人口増への制約条件
地場産業の衰退
町活性化への取り組み
地方のなかの地域をどう創生するか？

人口1000人の町

加古川市上荘町国包

歴史ある町であるが、今は時代の変化
についていけずに忘れ去られつつある

兵庫県加古川市



兵庫県加古川市上荘町国包(くにかね)





国包町並み





歴史的背景と町の現状

国包はかつては湯之山街道と加古川舟運が交わる流通の要衝であった。町並みは加古川市の歴史的景観保存地区とされたが震災でその面影はなくなった。

度重なる洪水に悩まされた地でもあった。洪水時に住民が避難するための築山が築かれた。そこに植えられた榎(樹齢250年)が加古川市唯一の天然記念樹木に指定されている。

水利が悪く農作には苦労があった。200年前に用水を引くことで農地拡大に成功した。

地場産業は約190年前に発祥した国包建具である。

生活圏は八幡町に近いが、行政上は対岸の上荘町に属する。農協も八幡農協ではなく上荘農協に属する。

上荘町国包(Wikipedia)

2013年4月1日現在 人口は1081人、世帯数391世帯
地場産業は国包建具

古代から加古川の水害に悩まされてきた。鎌倉時代まで、加古川西岸に存在していたが、1225年(嘉禄元年)8月の大水害により元の集落は、河原となり、住人は東岸に移動した。

湯山街道の宿場町として栄え、1594年(文禄3年)の加古川の舟運が開発されると木材、酒、米の集約地として栄えた。

国包の歴史・概要

1225年(嘉禄元年)	<u>加古川大洪水</u> 国包村全村流失
1756年(宝暦8年)	国包の築山(洪水時の避難場所)完成
1816年(文化20年)	<u>亀之井用水が完成</u> 国包村の水利改善
1825年(文政8年)	<u>国包建具の発祥</u>
1874年(明治7年)	国包尋常小学校開校、国包郵便局開局
1889年(明治22年)	<u>町村制により上荘村</u>
1900年(明治33年)	国包銀行が開業
1913年(大正2年)	<u>播州鉄道加古川本線</u> 国包駅(厄神駅)開業
1916年(大正5年)	播州鉄道三木線国包駅が開業
1921年(大正10年)	加古川大改修起工式(1933年完了)
1953年(昭和28年)	国包建具協同組合技能者養成所開所式
1955年(昭和30年)	上荘村、平荘村、八幡村が加古川市に合併
1968年(昭和43年)	圃場整備事業開始(1978年完了)
1995年(平成7年)	<u>阪神・淡路大震災</u> 、以降古い家々が消失
2008年(平成20年)	三木鉄道廃止・代替バス運行
2014年(平成26年)	東播磨南北道路開通

畑平七（はた へいひち） 生年不詳、嘉永二年（一八四九）

苗字帯刀。播磨国印南郡上萩村の代々肥料商の家柄であつた畑重憲の長男に生まれた。居村一帯は加古川の氾濫でしばしば洪水に見舞われ、灌漑用水に困窮することが多かつたため、疏水開発を計画し、明石・姫路両藩に願い出て文化十一年着手し、同十三年完工をみた。その費用はすべて私財を投げうったもので、これによって美田六十余町を得た。この用水路は亀の井堰と呼ばれる。姫路藩主酒井忠実はその功を賞して苗字帯刀を許し、俸米五俵を給した。晩年は平左衛門と称した。

『印南郡誌』『兵庫県郷土人物誌』のじぎく文庫『兵庫県人物事典』、橋本政次『姫路城史』

八幡町 神野町

古くから続く伝統と習わし、
そこに加わる新しい風。

地元の人々の未来のために奮闘したヒーローたちの存在や、繊細で素晴らしい技を今日に受け継ぐ建具技術など、昔の人の息吹が至る所に感じられるエリア。その一方で、最先端の医療機関の設置や自動車専用道路の開通など、近年、新しい変化も見えています。



のどかな空気が漂う国包の町並み。

建具の町・国包を歩けば見えてくる、地域のために奮闘した地元
の英雄たち。

116 建具職人の技術が生きる
国包（くにがむ）の町（地図P.3）

建具職人たちが住んでいた焼き板の町家が並び、懐かしい雰囲気漂う上荘町国包。加古川を利用して運ばれてくる木材を使い、唐箆という農具を作るようになったことが発展し、建具職人が生まれたといわれています。昭和51（1976）年には、国包の建具が兵庫県の特産の指定に、現在も約100人の建具職人が見事な技を伝承しています。



大正時代には30軒余りの建具屋があったそう。昔から三木の金物・小野のそろばんと並び、地場産業が盛んな町でした。



亀をかたどった碑、井堰の構造が石の亀の背中のように丸く積み上げたこと、寿命の長い用水になるようにと「亀之井」と名付けられました。

なる洪水から郷里の人々を救うため、国包出身の大阪商人・長浜屋新六郎が私財を投げ打って、宝暦6（1756）年に築いたものです。その後、村の人々が感謝の気持ちと安全への祈りを込めて築山神社を建てました。



洪水時の避難所として、また、この工事によって多くの農民が仕事を待てなくなったといわれています。築山神社の前には、推定樹齢240年、市指定文化財の榎の樹があります。元は2本の榎と1本の榎でしたが、平成24（2012）年の強風被害で1本になってしまいました。

く、天保5（1834）年には7割余りの増加に、美濃川が加古川と合流する少し上、三木市別所町の正法寺に亀之井堰はあります。【取材／田中義典】

※本来、国包地区は上荘町ですが、八幡小学校区として、この国包地区を分けています。



▲アーチ型にくり抜かれたこの空間で、かつては荷物の運び込みが行われていました。

▶昔懐かしい茅葺き屋根が眼く赤い煉瓦塀。歴史の重みと共に、優しさや温かみを感じます。



GO! GO! かこウォーク



光を通して見るシラエトは、まさに日本の伝統美。国包公民館で見られる書院障子と書院欄間は一見の価値あり!



用水ができる前は、5日ほど日照りが続くとしるべで漏水しなければならなかったのだとか。

茅葺きと赤レンガの共演、歴史の長さを感ぜさせるステキ建築を発見。

117 ノスタルジックな煉瓦塀のかや葺き家（地図P.1）

日本の原風景ともいえる茅葺き屋根の家が、神野町西条に今も残されています。その歴史は古く、築150年以上というから江戸時代末期の頃。もう一つの特徴である赤レンガの塀が家の周りをぐる

りと囲み、和と洋が相まったレトロモダンな雰囲気を醸しています。すぐ横にある新井用水は、約350年の時を絶えることなく、恵みの水を流しているのだとか。その昔この家が醤油造りをしていた頃、樽の材料を水路を利用して運び入れていた名残で、レンガ塀の一角にはアーチ状の空間が空いています。「家の維持に普通の家の一軒分けたけど傾いたまま」と屈託なく話す当主のFさん。これから先も残してほしい風物です。

【取材／八江正治】



国包川辺実況図(嘉永)

嘉永は元年から7年まで
西暦では
1848～1855年



昭和
初期



国包の町並（昭和初期）

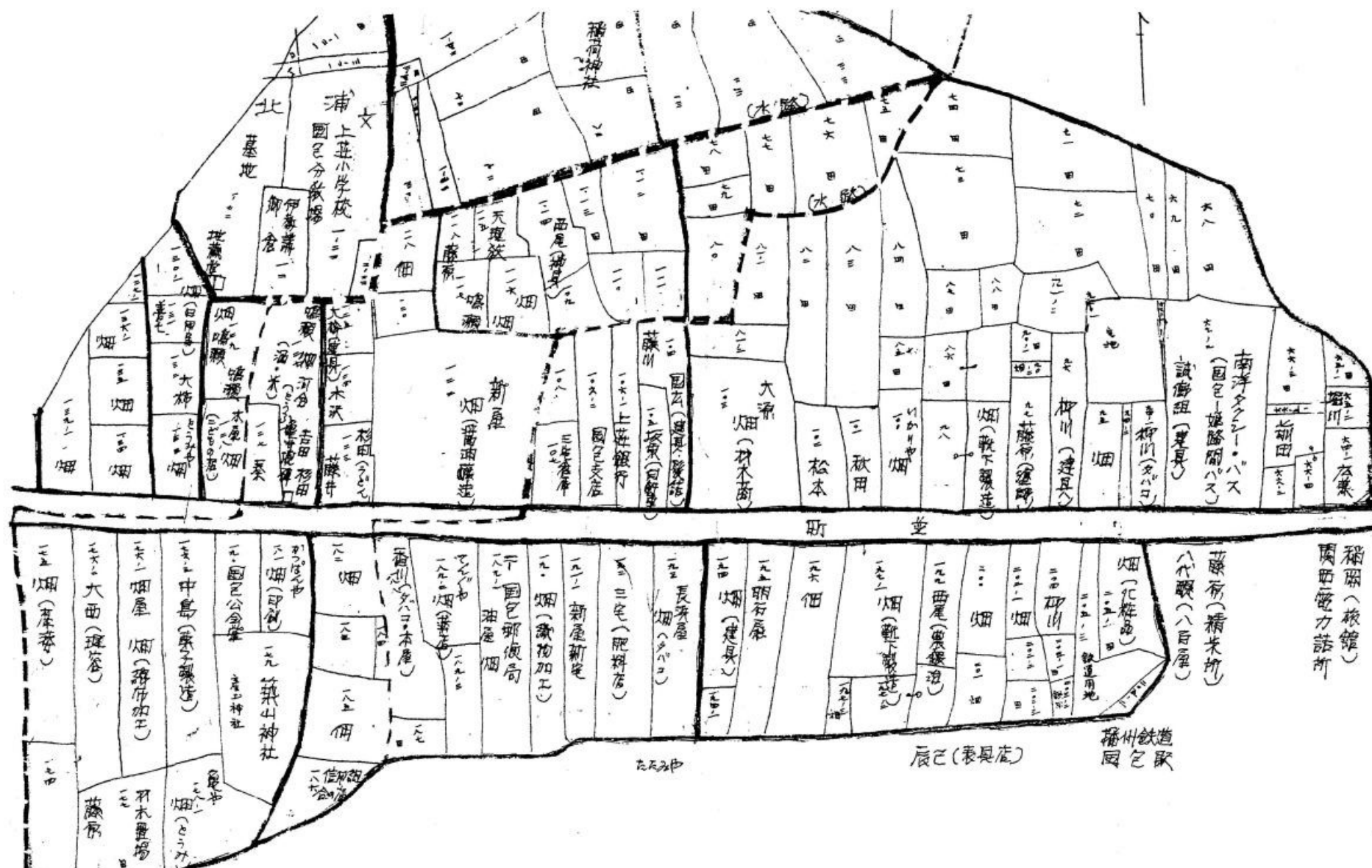
今



国包の町並（昭和初期）



昭和初期の国包の町並み



国包町並みの建具製作所









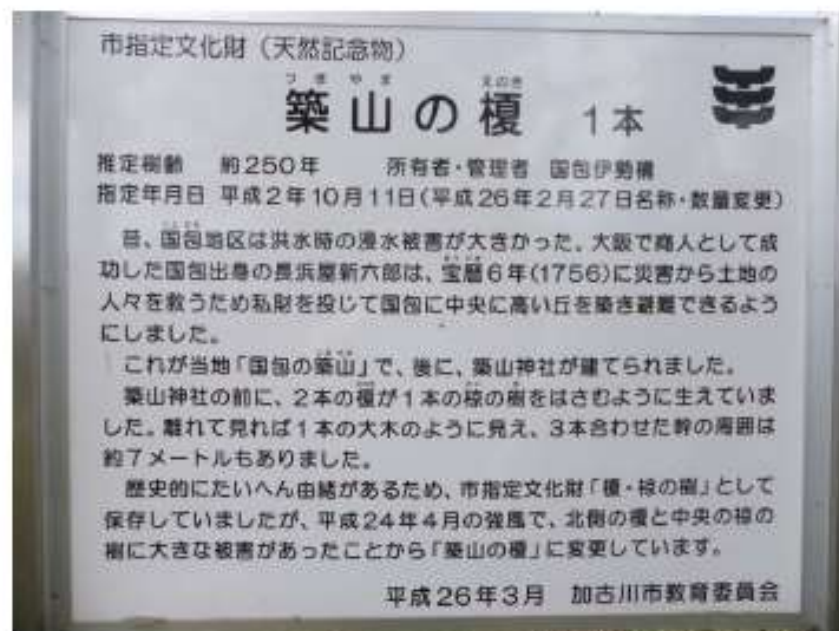












人口減少を数字で見る

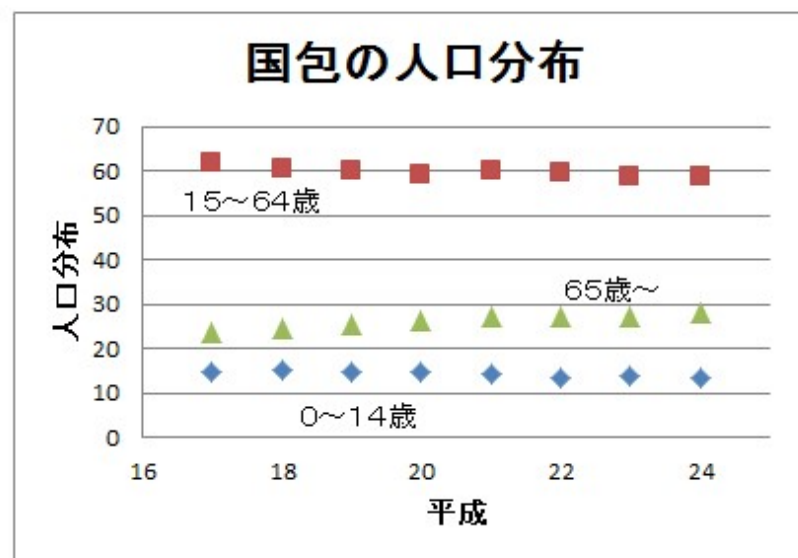
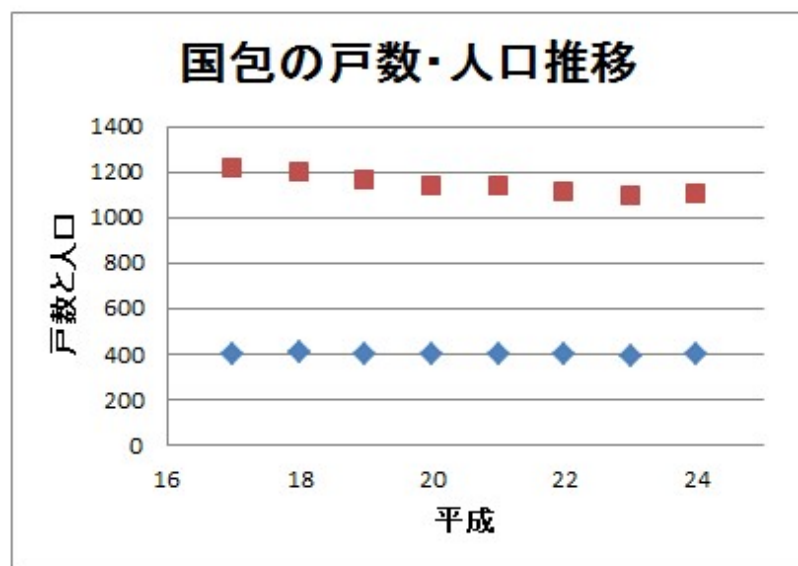
人口は漸減中である。

近隣の町と比べて若干ではあるが平均
年齢は若い。

国包の世帯数と人口、および人口構成

加古川市の統計より

平成 (年)	世帯数	人 口			年 齢 構 造 (人)			年 齢 構 造 (%)		
		総 数	男	女	年 少 人 口 (0～14歳)	生 産 年 齢 (15～64歳)	老 年 人 口 (65歳以上)	年 少 人 口 (0～14歳)	生 産 年 齢 (15～64歳)	老 年 人 口 (65歳以上)
17	403	1,216	588	628	178	751	287	14.6	61.8	23.6
18	404	1193	574	619	179	720	294	15.0	60.4	24.6
19	401	1163	563	600	173	695	295	14.9	59.8	25.4
20	399	1137	551	586	167	670	300	14.7	58.9	26.4
21	398	1133	543	590	161	667	305	14.2	58.9	26.9
22	397	1110	531	579	150	660	300	13.5	59.5	27.0
23	394	1095	519	576	153	643	299	14.0	58.7	27.3
24	395	1099	520	579	147	643	309	13.4	58.5	28.1



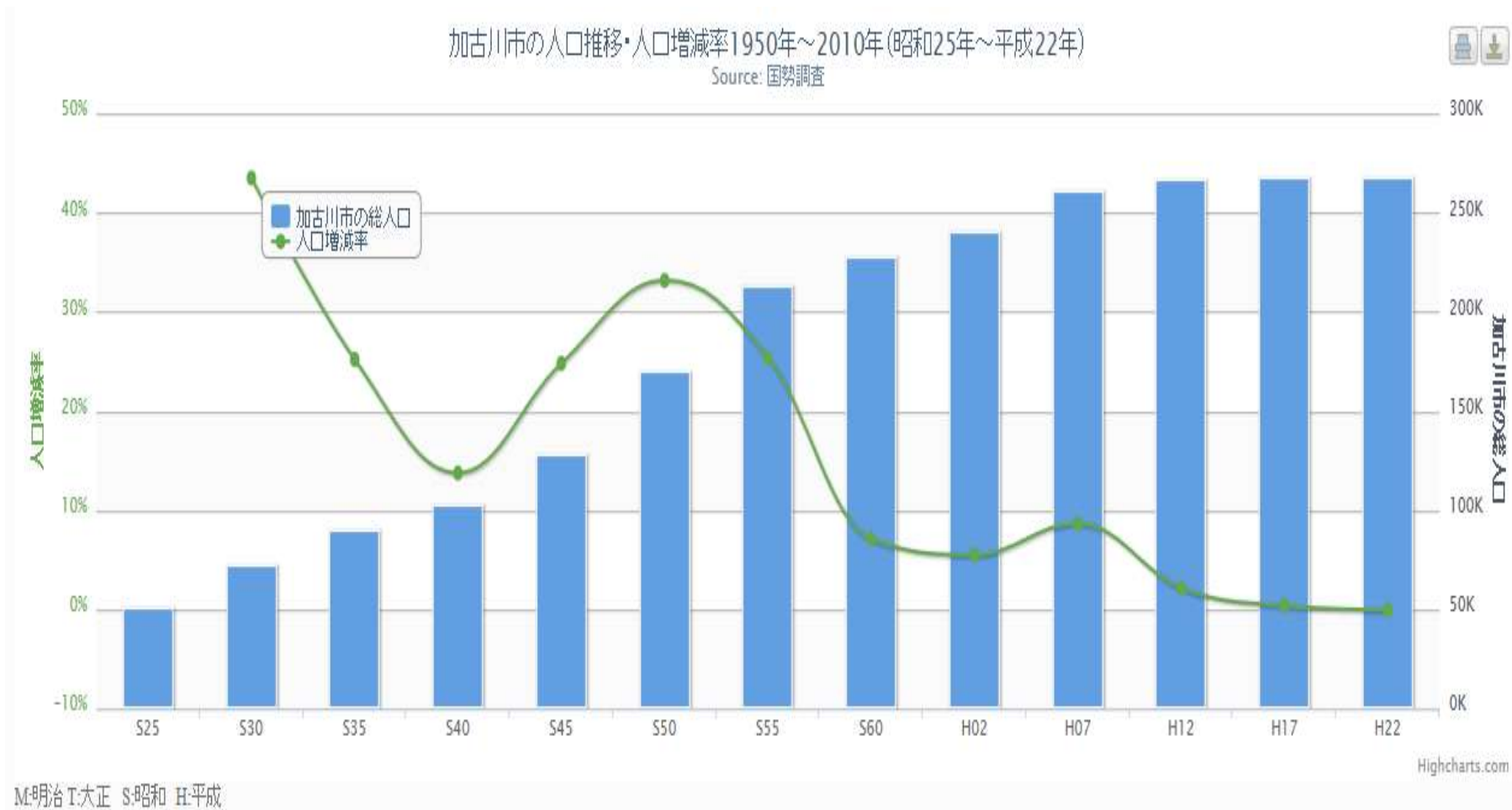
平成27年8月 町丁別住民基本台帳人口

町・地区名	世帯数	人口	年齢構成(%)		
			0～14歳	15～64歳	65歳～
平 荘 町	1847	4484	10.1	55.8	34.1
八 幡 町	1693	4283	11.6	59.3	29.1

上 荘 町	1,984	5,032	9.5	53.9	36.5
小 野	231	577			
薬 栗	199	520			
見 土 呂	161	414			
国 包	394	1,039	13.4	58.5	28.1
井 ノ 口	85	250			
白 沢	15	40			
都 染	177	462			
都 台 1 丁 目	297	714			
都 台 2 丁 目	228	564			
都 台 3 丁 目	197	452			

※ 国包の年齢構成は平成24年の値

加古川市の人口推移



<http://demography.blog.fc2.com/blog-entry-869.html>

2040年の若年女性(20～39歳)人口推計

地方消滅 増田寛也著

(中公新書、2014年8月)

新温泉町	-70.0%	356	8,099	1,185	16,004
佐用町	-68.2%	494	10,043	1,555	19,265
上郡町	-65.1%	562	9,723	1,611	16,636
朝来市	-63.5%	1,095	20,458	3,001	32,814
香美町	-63.0%	564	10,196	1,527	19,696
神河町	-61.7%	427	7,055	1,116	12,289
多可町	-58.9%	868	14,470	2,112	23,104
淡路市	-58.7%	1,800	28,251	4,360	46,459
篠山市	-58.7%	1,807	28,359	4,371	43,263
洲本市	-58.5%	1,930	27,987	4,654	47,254
養父市	-58.3%	910	15,840	2,180	26,501
三木市	-56.2%	3,919	53,176	8,954	81,009
相生市	-55.4%	1,414	19,766	3,169	31,158
犬養市	-55.0%	1,837	24,947	4,084	40,938
市川町	-54.7%	594	7,809	1,313	13,288
加西市	-54.7%	2,308	33,598	5,093	47,993
稲美町	-53.7%	1,635	20,759	3,532	31,026
南あわじ市	-53.6%	2,200	31,551	4,742	49,834
神戸市須磨区	-51.4%	10,249	126,584	21,069	167,475
福崎町	-51.3%	1,268	15,604	2,604	19,830
丹波市	-50.4%	3,242	44,965	6,536	67,757
豊岡市	-48.8%	4,212	57,127	8,223	85,592
尼崎市	-48.3%	30,586	324,954	59,163	453,748
三田市	-45.4%	7,449	97,668	13,645	114,216
播磨町	-44.9%	2,318	24,726	4,207	33,183
西脇市	-44.8%	2,420	30,110	4,383	42,802
赤穂市	-44.4%	3,167	36,562	5,695	50,523
高砂市	-43.2%	6,512	72,448	11,473	93,901
神戸市長田区	-42.8%	6,749	79,194	11,802	101,624

	若年女性 人口変化率	2040年 若年女性 人口	2040年 総人口	2010年 若年女性 人口	2010年 総人口
神戸市垂水区	-40.3%	16,157	179,804	27,079	220,411
たつの市	-39.9%	5,612	61,844	9,335	80,518
神戸市西区	-38.8%	19,712	233,220	32,217	249,298
明石市	-38.6%	22,456	233,705	36,573	290,959
加古川市	-38.3%	20,811	216,001	33,739	266,937
神戸市北区	-37.9%	17,079	195,229	27,507	226,836
猪名川町	-37.4%	2,315	28,893	3,697	31,739
川西市	-37.3%	11,687	120,999	18,644	156,423
姫路市	-33.6%	44,530	440,491	67,093	536,270
小野市	-32.0%	4,102	41,817	6,034	49,680
神戸市兵庫区	-30.2%	9,631	99,728	13,801	108,304
神戸市東灘区	-27.6%	21,343	195,194	29,473	210,408
宝塚市	-27.4%	20,883	206,938	28,766	225,700
加東市	-26.4%	3,703	35,284	5,028	40,181
伊丹市	-25.0%	19,509	178,927	26,026	196,127
西宮市	-21.5%	54,406	476,998	69,278	482,640
神戸市灘区	-20.9%	15,493	132,043	19,587	133,451
神戸市中央区	-20.9%	16,282	140,718	20,584	126,393
芦屋市	-20.3%	9,605	90,659	12,055	93,238
太子町	-20.0%	3,571	30,969	4,465	33,438

人口増への制約条件

- 1981年(昭和46年) 市街化調整区域指定
- 2006年(平成18年) 既存住宅制度廃止
土地取得・住宅建築が困難に
- 2007年(平成19年) 田園まちづくり制度を設けその
一部を緩和へ

(参考)

阪神・淡路大震災(1995年、平成7年)の後、多くの家が壊され、一部は建て替え、一部は更地、そして大敷地の家については宅地開発が行われた。



加古川市
KAKOGAWA CITY

本文へ

▶ サイトマップ

▶ Multilingual (翻訳)

文字サイズ変更

標準

拡大

背景色変更

黒

青

白

Google™ カスタム検索



くらし

日常生活で役立つ情報

子育て・教育
文化・スポーツ

子育ての手当てなど

福祉・健康

福祉の手当てなど

事業者の方へ

入札情報など

市政情報

市の計画、財政など

現在の位置 [ホーム](#) > [組織から探す](#) > [都市計画部](#) > [都市計画課](#) > [田園まちづくり](#) > [各まちづくり協議会のとりくみ](#)
> 特別指定区域の指定状況

特別指定区域の指定状況

更新日：2015年3月3日

ツイート

0

いいね!

0

指定(告示)状況

- 平成20年4月7日:高畑・薬栗地区
- 平成21年4月17日:宗佐・神木・小野・都染・国包地区
- 平成21年6月11日:高畑地区における特別指定区域の指定変更
- 平成22年4月8日:横大路・中西条・西中・下村地区



[各まちづくり協議会のとりくみ](#)

▶ [高畑地区まちづくり協議会のとりくみ](#)

田園まちづくり制度（地域でつくるまちづくり）

更新日：2015年4月8日

 ツイート 0

 いいね！ 0

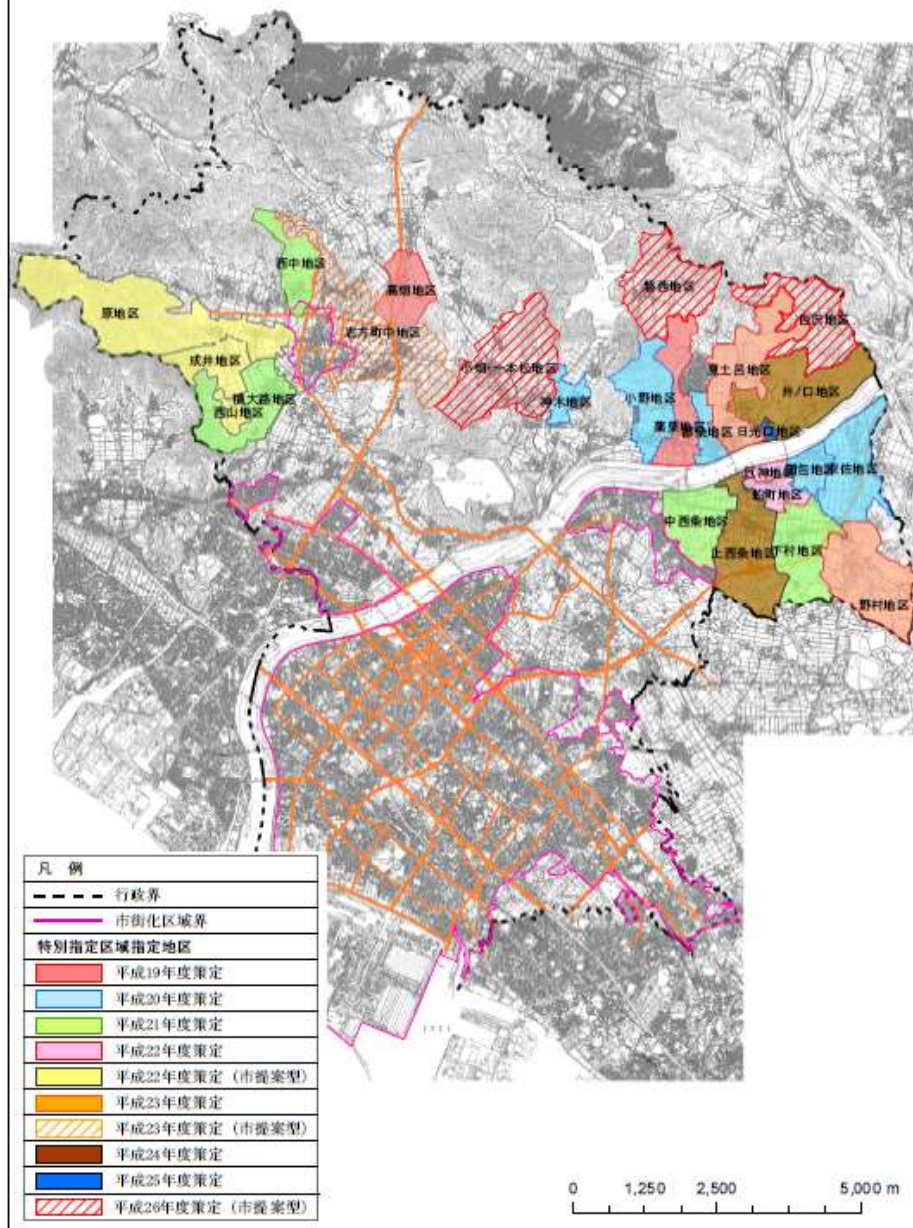
田園まちづくり制度とは

皆さんが安心して暮らし続けられるまちとはどんなまちでしょうか。自然と共生し「食」「農」「自然」「健康」をテーマにさまざまな人がふれあい交流し笑顔があふれ、地域の一人一人がそこで暮らすことの意味を互いに確認し高めあえるまち・・・。

加古川市では、加古川市北部の市街化調整区域で少子高齢化、過疎化の進んでいる地域において田園まちづくりを推進するために田園まちづくり制度のパンフレットを作成いたしました。

地域でまちづくりを実現するためには、地域の魅力を最大限に活かしつつともにまちづくりをしていこうとする意欲のある人を呼び込み、みなさんが主体となってまちづくり計画を作っていこうとする気持ちが大切です。こうした地域で住民が主体となってつくるまちづくりを実現するための取り組み内容やルール等を掲載しています。

田園まちづくり地区 位置図 1:80,000



まちづくり協議会 (市街化調整区域)

高畑地区	薬栗地区
宗佐地区	神木地区
小野地区	都染地区
国包地区	横大路地区
中西条地区	西中地区
下村地区	船町地区
厄神地区	野村地区
見土呂地区	上西条地区
井ノ口地区	日光口地区
磐東地区	

田園まちづくり地区人口

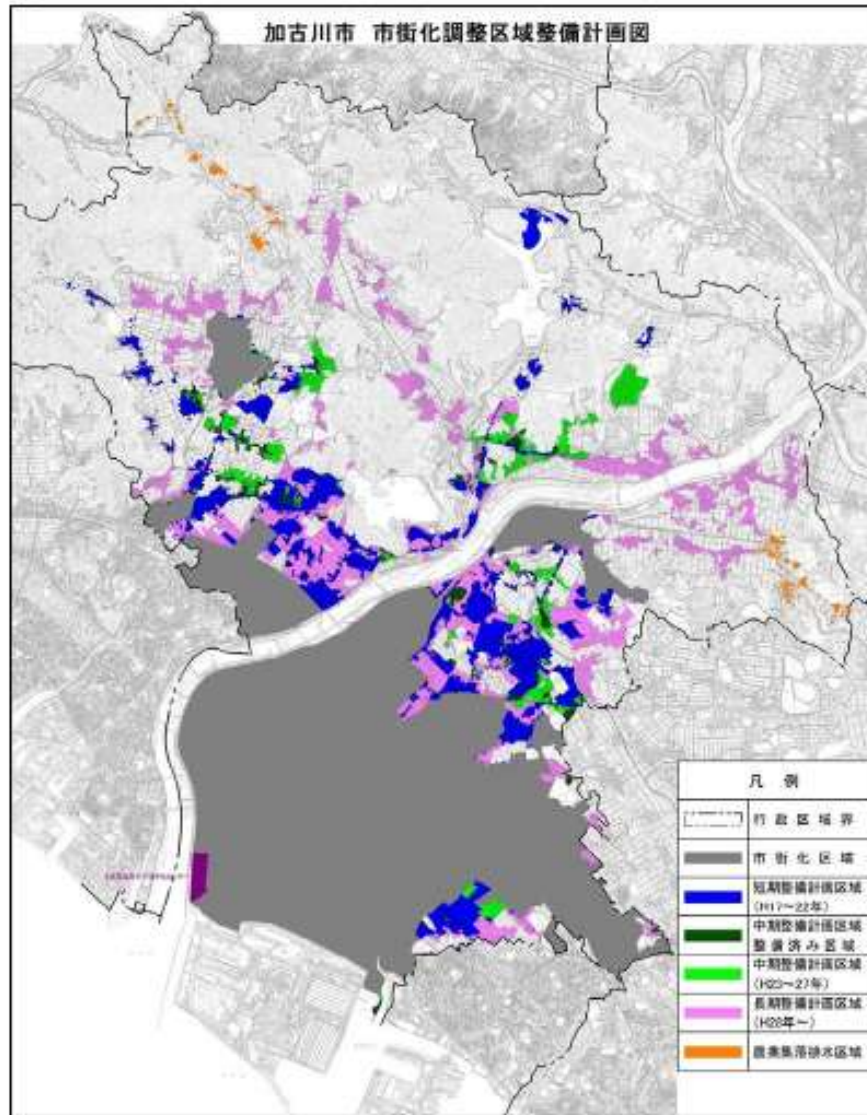
町部：田園部＝9：1

	面 積 (km ²)	世 帯 数	人 口 総 数	対 前 年 同 月 比 増 減		田園まちづくり地区	
				世 帯 数	人 口	○人口	×人口
総数	138.48	104,315	266,179	674	△925	24,608	241,571
加古川町	10.97	22,895	59,228	149	34		59,228
神野町	7.48	6,085	16,253	△20	△219		16,253
野口町	7.96	14,751	38,295	235	130		38,295
平岡町	8.66	21,982	52,472	81	△191		52,472
尾上町	6.33	11,643	28,933	128	18		28,933
別府町	3.29	7,547	18,240	93	41		18,240
八幡町	9.28	1,435	5,082	△14	△109	5,082	
平荘町	15.51	1,563	4,316	△8	△114	4,316	
上荘町	11.12	1,755	4,740	3	△56	4,740	
東神吉町	6.52	5,189	13,798	57	△107		13,798
西神吉町	4.69	3,368	8,519	8	△104		8,519
米田町	1.67	2,300	5,833	△6	△58		5,833
金沢町	5.65	－	－	－	－	－	－
志方町	39.35	3,802	10,470	△32	△190	10,470	

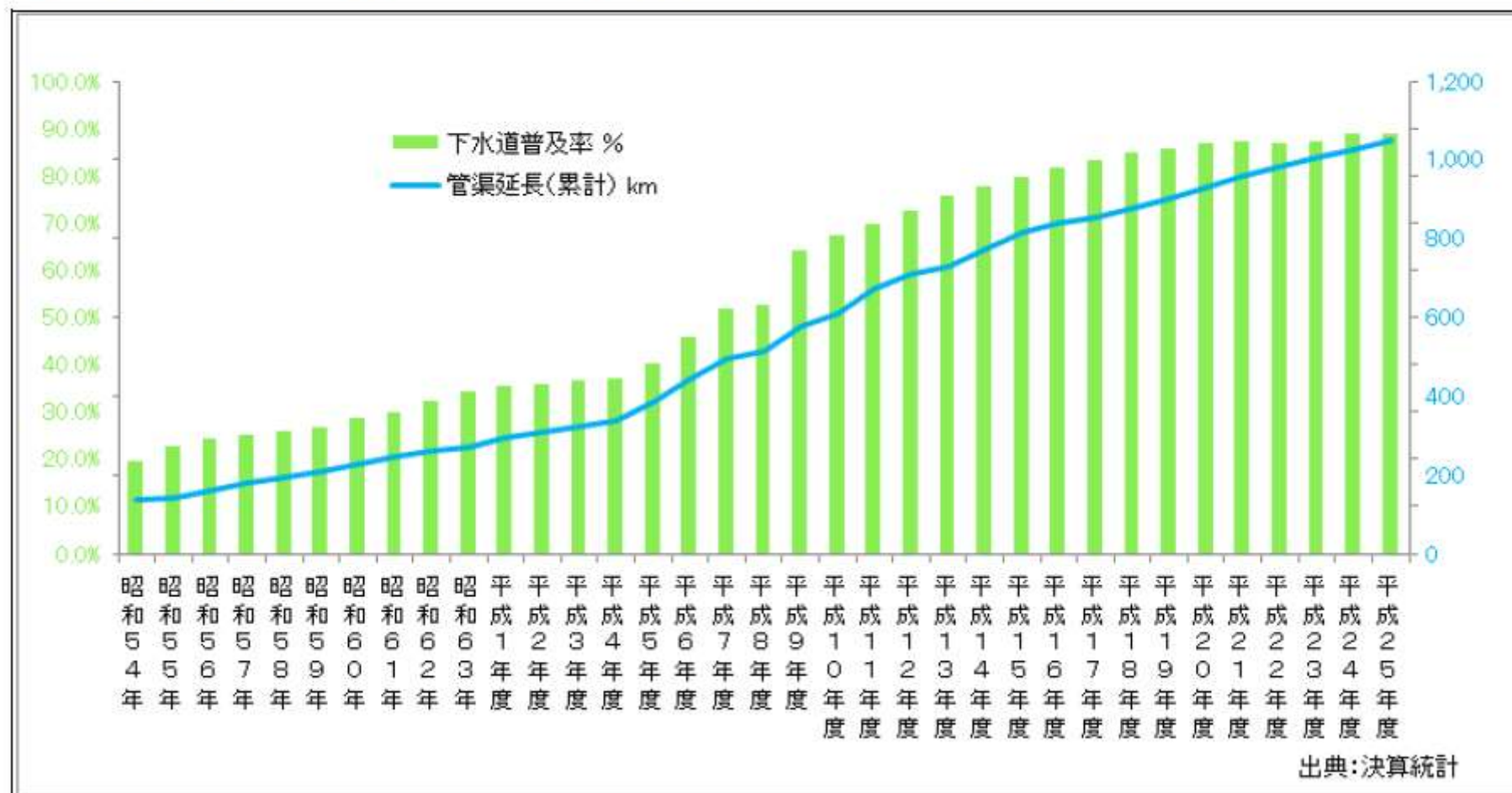
資料：加古川市総務課
平成27年8月1日現在

下水道普及地域と市街化調整区域

【平成 25 年度末における市街化調整区域整備計画図】



【下水道普及率及び管渠延長の推移】



田園まちづくり制度

市からの説明：田園まちづくり制度、今後のスケジュール等について

⇒この制度は市街化調整区域の厳しい建築の許可基準をもう少し自由に建築できるように緩和できる制度です。

(集落の人口減少・少子高齢化などの問題を少しでも解決できると考えられます)

[国包 まちづくりニュース\(平成19年9月\)\(PDF:40.2KB\)](#)

[国包まちづくりニュース\(平成19年12月\)\(PDF:1,016KB\)](#)

[国包まちづくりニュース\(平成20年3月\)\(PDF:838.8KB\)](#)

[国包まちづくりニュース\(平成20年4月\)\(PDF:977.8KB\)](#)

[国包まちづくりニュース\(平成20年9月\)\(PDF:1.2MB\)](#)

[国包まちづくりニュース\(平成21年5月\)\(PDF:1.3MB\)](#)

地区まちづくり計画がなぜ必要なの？

私達の住む国包地区は加古川市の都市計画で「市街化調整区域」に指定されています。

市街化調整区域では、

①人口が減少傾向、②市街地に比べると高い高齢化率、③工場等の閉鎖や店舗等の廃業、さらに④既存宅地制度が廃止され転入者の住宅建築が困難になったなどから地域の活力が低下し、土地の弾力的な活用による活性化が必要になっています。

※市街化調整区域とは、

豊かな自然環境や農業などを守るために無秩序な市街化を抑制する区域です。ですから、日常生活に必要な施設や農家用住宅、農業用倉庫などを除き、原則として住宅の建築や宅地開発は制限されています。

田園まちづくり制度により

- ・まちづくり協議会を組織
- ・地区まちづくり計画を作成
- ・特別指定区域の指定

**地域の取り組みに必要な
建築物が許可されます**

● 田園まちづくり計画を作るとどうなるの？

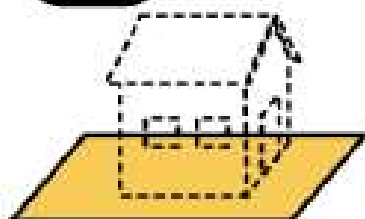
これまでは

例1



空き地に分家住宅を建てる場合は、人（分家の要件を持つ人）と土地（線引き前から所有）の要件を満足する必要がありました。

例2



^{※1}線引き前から建っている住宅はだれでも住宅として使用できます。また、建て替えもできますが、解体してしまうと、その土地は例1の空地と同じ土地になってしまいます。

例3



線引き後に許可を受けて建てた住宅はその許可要件（分家住宅など）を満足する人しか使用できません

田園まちづくり制度に

より区域指定を受けると建築ができます。

例えば、

- ① ^{※2}地縁者の住宅区域
- ② 新規居住者の住宅区域



※1：線引きとは、市街化区域と市街化調整区域に区分された日（昭和46年3月16日）

※2 **地縁者とは、その集落及び近隣集落（最大小学校区内）に通算して10年以上居住する者又は居住していたものをいいます。**

既存宅地制度

線引き前からの既存宅地（登記簿に宅地と記載、又は建物が存在）であれば、だれでもどんな用途でも建築が可能

既存宅地制度廃止

平成18年5月
（経過措置期間終了）

田園まちづくり制度

まちづくりに関する方針（国包地区）

計画名称	国包地区まちづくり計画
目標・テーマ	現在のまちの景観や環境を維持・保全しつつ、道路などの整備・改善など生活環境をいま以上に向上させるとともに、農業環境と調和した柔軟な土地利用計画を定める。その計画に基づき、誰もが安心して暮らせる、誰もが安全に暮らせるまちづくりを進める。
目標人口	953 人（昭和 46 年以降でピークとなる昭和 52 年の人口）

課 題	対応方針
5.安全安心対策	通過交通を規制する（堤防道路につながる 2 路線）
6.歴史を活かす取組み	神社等の歴史的資源を保存する（築山神社、亀之井堰碑、稻荷神社、地藏堂、教泉寺、国包建具、火の見櫓）
7.自然を活かす取組み	築山神社境内の榎（えのき）・棕（むく）の樹、国包保育園跡地の欒（けやき）を守る
8.地縁者の範囲	地縁者の範囲は小学校区域とする

まちづくり区分

(国包地区)



凡 例

保全ゾーン

農業保全ゾーン

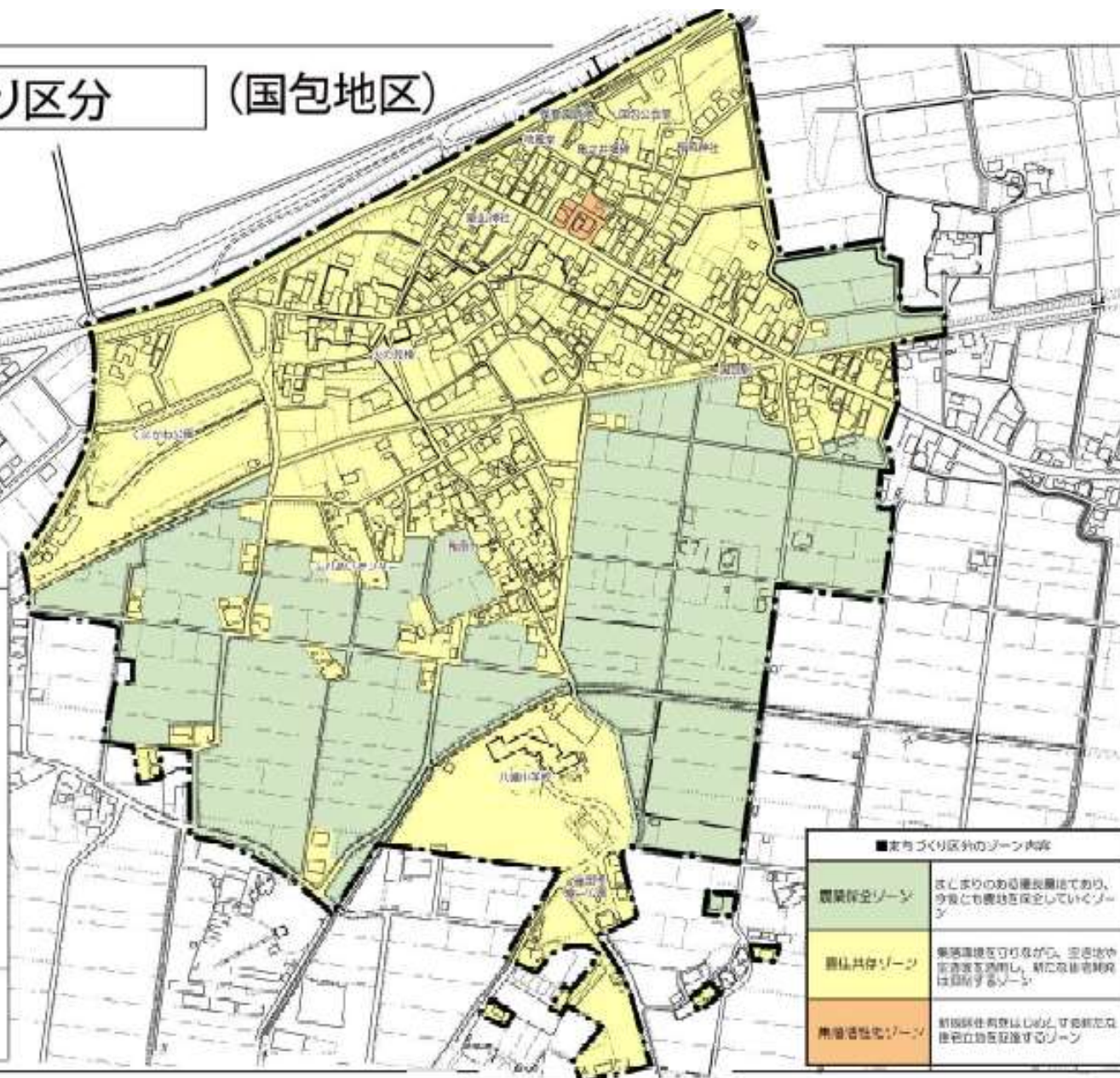
開発誘導ゾーン

農住共存ゾーン

集落活性化ゾーン

国包地区界

0 50 100 150 200m



■まちづくり区分のゾーン内容

農業保全ゾーン	ほとんどの農地が農地であり、今後も農地を保全していくゾーン
農住共存ゾーン	集落環境をとりながら、空地や空き家を活用し、新たな集落形成を目指すゾーン
集落活性化ゾーン	集落活性化を図り、新たな集落形成を目指すゾーン

まちづくり構想 (国包地区)



昔の街並みを守るための景観施策の検討

公会堂の改善

三木鉄道跡地の活用 (国包駅を含む)

水路の整備・改善

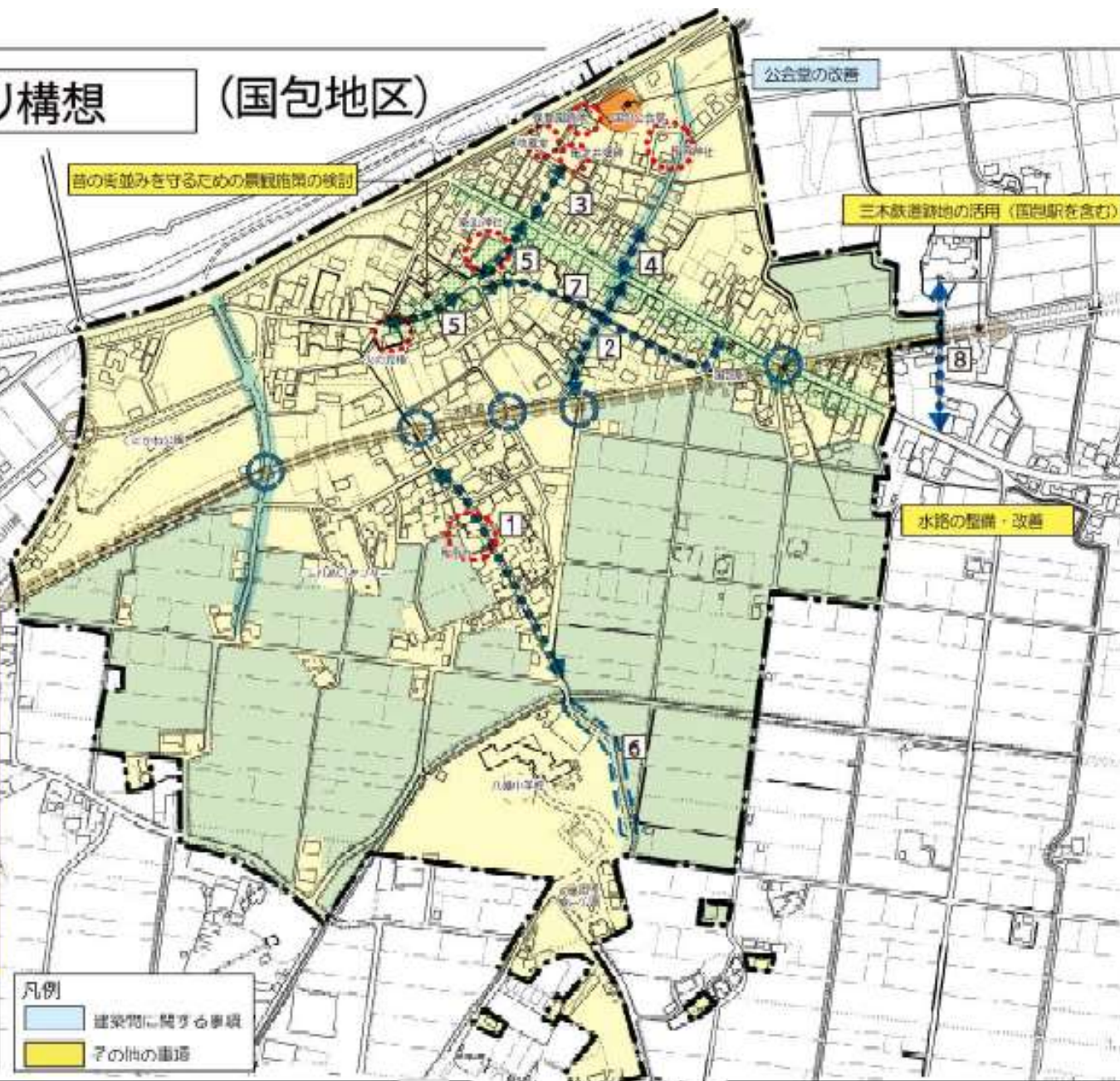
凡例

- 道路の整備・拡張
- 高砂の島所設集の水場広げ等
- 三木鉄道跡地の活用
- 立体交差部の歩車道分離のための拡張整備
- 通過交通を規制する路線
- 歴史をたずね取り組み自然を生かす取り組み
- 景観施策をとりながら空き地、空き家を活用して人口を増やす区域
- 今後とも農地を保全していく区域

国包地区界
0 50 100 150 200m

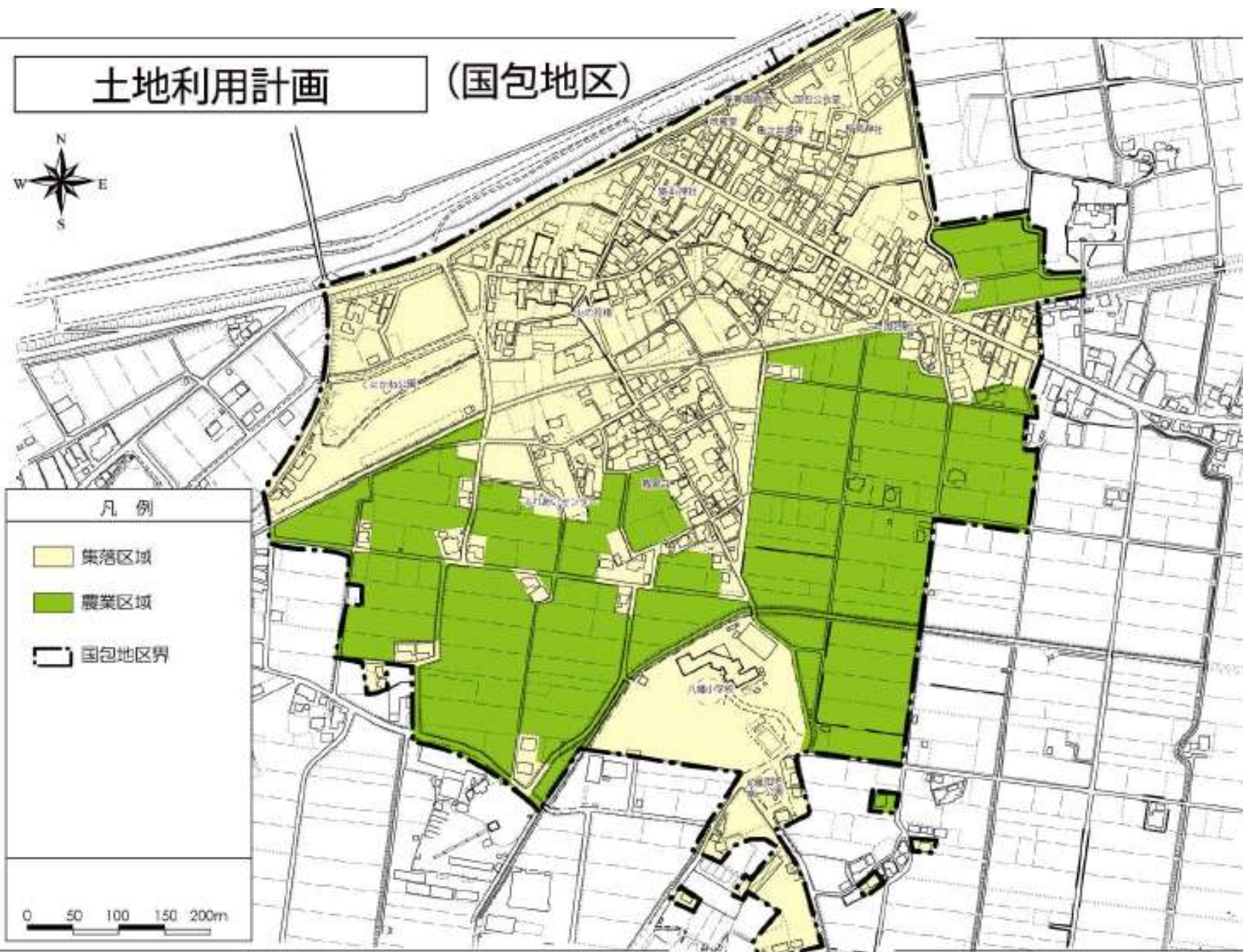
凡例

- 建築物に関する事項
- その他の事項



 国包地区界

0 50 100 150 200m



特別指定区域

(国包地区)



凡 例

特別指定区域

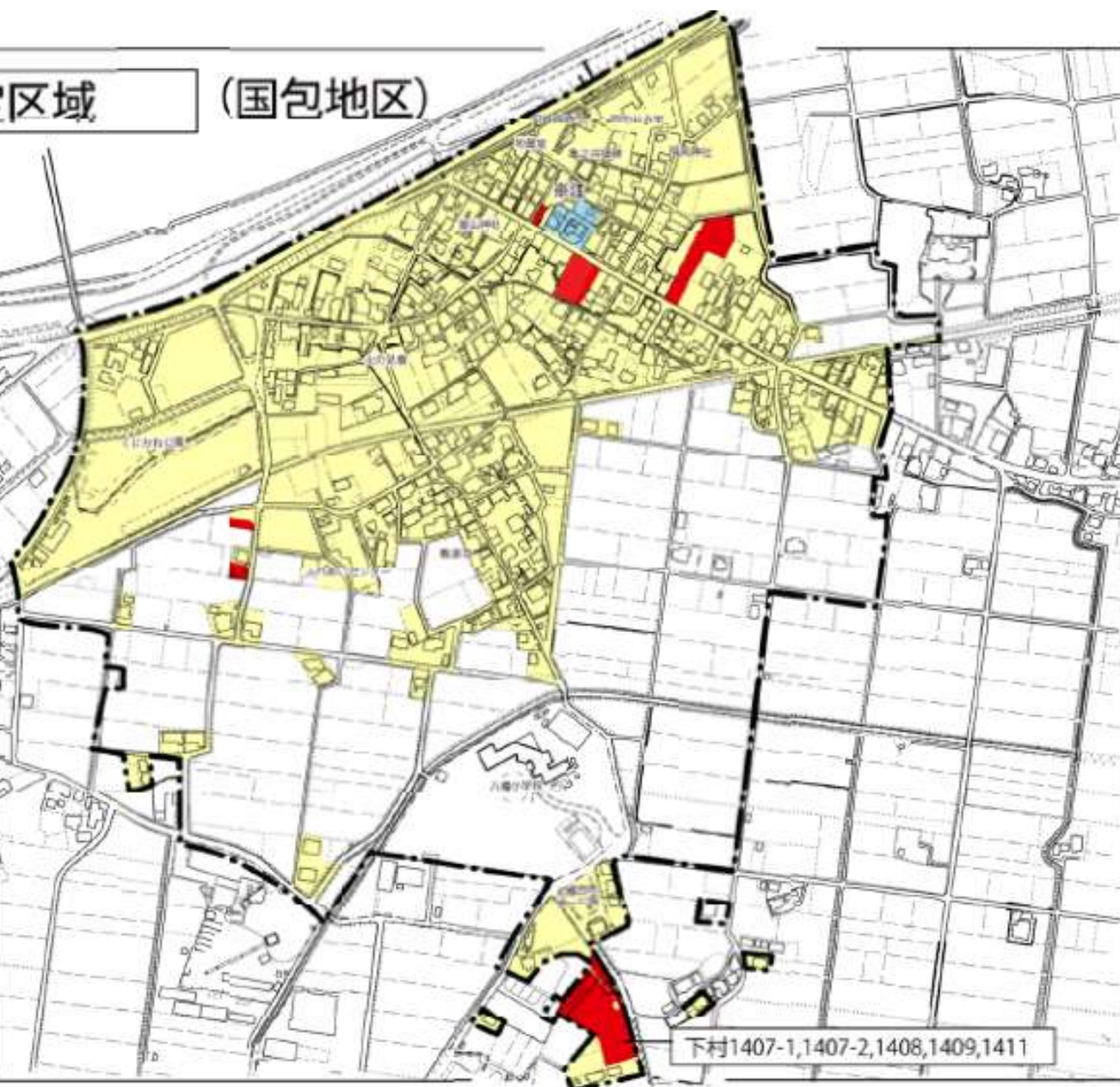
地縁者の住宅区域
集落周辺に、通算して10年
以上居住する者の住宅が許
可可能な区域

新規居住者の住宅区域
住居者の減少に対処する必要
のある集落における、新規居
住者（集落に居住している期
間が10年未満の者を含む）
の住宅が許可可能な区域

国包地区界

※注：開発許可を受けてで
きた団地であるため、誰で
も住宅の建築物を建築でき
ます。

0 50 100 150 200m



下村1407-1,1407-2,1408,1409,1411

国包の地場産業 国包建具

190年の歴史

生活様式・建築様式の変化につれ需要減少

一個作り・材料費高騰による製品価格高

海外製品の流入による価格低下圧力

従事者の高年齢化・後継者不足

技術・製品の「良さ」の発信力不足

東播磨の特産品

松右衛門帆

竜山石

国包の建具

くつした

国包の建具[加古川市]

日本一の木工の里・飛騨の高山にたとえて、「西の高山」と呼ばれる国包地区。加古川上流から運ばれる原木の集散地だったところから、江戸時代の1825年頃から建具作りが始まり、現在も100人以上の職人さんが製造に従事しています。その独自デザインと確かな技術は全国的に有名で、姫路城の欄間(らんま)などにも使用されています。



見に来てや！ 東播磨

<http://www.e-harima-tourism.jp/special/specialty/?tab=2>

家具・木工品(国包建具)

(1) 最近では戸建住宅でも和室が少なくなった上、既製品で対応するものが増えており、建具自体の需要が減少している。また、塩ビの建具が、安売り攻勢をかけているため、販売単価も低下しており厳しい状況。

(2) 建具材料は外材(80%を外材に依存しており、アメリカ、カナダが中心)でも100年程度の樹齢が必要で、中には400～500年のものもある。国内材でも70～150年程度のものが標準的で高コスト要因になっている。

(3) 業界では子弟の高学歴化が進み、徐々に後継者が減少している。法人の場合は比較的人材確保に成功しているが、個人企業では若年労働者の確保は容易ではない。従業員の高齢化も進展しており、今では50代後半が主力で、40代が底辺を支えている状態。「匠の技」の伝承も難しくなっている。

(4) 機械化を図るには1台1千万円以上の大型機械が必要になり、小規模企業では償却できない。

また、受注品が多く量産がきかないため、機械化が進めにくいという問題もある。

(5) 最近、台湾や中国、ベトナム等からの輸入品が増加しているが、彫刻物の欄間等は、国産に比べて安価なため産地への影響が出ている。

神戸・兵庫の郷土史Web研究館 資料 jbs03che.pdf

兵庫県の地場産業の沿革および特色、事業活動 3 化学・雑貨

「兵庫県の地場産業の紹介」平成27年9月より

(資料提供：兵庫県産業労働部産業振興局工業振興課)

<http://kdskenkyu.saloon.jp/pdf/jbs03che.pdf>

国包建具の発祥は、文政年間(1825 年)頃と言われている。国包は、江戸時代に加古川を利用した高瀬舟の寄港地であり、木柿や酒米の集散地として栄えた。それに伴い加古川上流(北播・杉原地方)から筏で運ばれてくる木材を製品化する木挽き職人が生まれ、国包に木工業が芽生えた。更に、唐箕(農作業用の選別機)づくりを経て建具造りへと移行した。

国包家具の特色は独特のデザイン、品格と手工性にある。特に、組物を得意として各種の伝統的な紋様を新しい建具に組み入れ、建具づくりの伝統を受け継いでいる。近年では、量産を強いられ動力機械の導入も見られるが、その製品の優秀さは全国的に有名であり、発展を続けている。

昭和46年11月には播州国包建具事業協同組合を結成して共同仕入れや共同受注に注力している。また、各種展示会に出品して数多くの賞を得るなど確固とした地位を保っている。

製品の種類も多様化しているが、構造上では板戸、紙張り障子、格子戸、らん間、フラッシュドアに分けられる。使用場所別に見ると内装建具(ガラス戸、ドア、ふすま、間仕切りらん間等)と外回り建具(玄関ドア、玄関引き戸、ガラス戸、網戸、雨戸、よろい戸等)に分けられる。フラッシュドア(両面にベニヤ板を張り付けたドア)は戸建用もあるが、現在ではマンション用が中心である。県内需要が80%以上を占め、次が大阪となっている。障子は主に戸建用で県下が90%を占めている。ガラス戸もマンションが中心であり、1戸当たりの枚数は少ないものの、1棟当たりでは量が多くなるため、単価が高いことから採算は良い。主な仕向先は阪神間、明石、三田等である。

※ 加古川商工会議所(加古川市)

〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 527-5 TEL : 079-424-3355

家具・木工品(国包建具)

《沿革及び特色》

国包建具の発祥は、文成年間(1825 年)頃と言われている。国包は、江戸時代に加古川を利用した高瀬舟の寄港地であり、木材や酒米の集散地として栄えた。それに伴い加古川上流(北播・杉原地方)から筏で運ばれてくる木材を製品化する木挽き職人が生まれ、国包に木工業が芽生えた。更に、唐箕(農作業用の選別機)づくりを経て建具造りへと移行した。

国包家具の特色は独特のデザイン、品格と手工性にある。特に、組物を得意として各種の伝統的な紋様を新しい建具に組み入れ、建具づくりの伝統を受け継いでいる。近年では、量産を強いられ動力機械の導入も見られるが、その製品の優秀さは全国的に有名であり、発展を続けている。

昭和46 年11 月には播州国包建具事業協同組合を結成して共同仕入れや共同受注に注力している。また、各種展示会に出品して数多くの賞を得るなど確固とした地位を保っている。

製品の種類も多様化しているが、構造上では板戸、紙張り障子、格子戸、らん間、フラッシュドアに分けられる。使用場所別に見ると内装建具(ガラス戸、ドア、ふすま、間仕切りらん間等)と外回り建具(玄関ドア、玄関引き戸、ガラス戸、網戸、雨戸、よろい戸等)に分けられる。フラッシュドア(両面にベニヤ板を張り付けたドア)は戸建用もあるが、現在ではマンション用が中心である。

兵庫県のWebより

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/ie07/documents/23kunikannettategu.pdf>

国包建具の生産規模

年次	事業所数	従業員数 (人)	製造品 出荷額等 (百万円)	出所
1994	33	160	1920	1
1995	33	150	1900	1
1996	31	126	1940	1
1997	30	116	1910	1
1998	30	116	1528	1
2006	19	57	550	2
2008	19	57	550	2
2009	18	56	500	2
2010	18	50	430	2

G
↓
A
P

出所1:兵庫県中小企業振興公社、
2000年版地場産業実態調査

出所2:兵庫県地場産業一覧

2006 2008 2009 2010

クロマツの葉の紋、国包建具の唐草模様

地元ゆかりの意匠導入

加古川プラザホテルの新カーペット



JR加古川駅南の加古川プラザホテルで、宴会場のフロアカーペットが地元ゆかりのデザインに一新された。広々としたロビーには市木「クロマツ」の葉の丸紋、大宴会場には伝統工芸の「国包建具」

をイメージさせる格子戸状に仕切った唐草模様が足元に広がっている。

カーペットの張り替えは約10年ぶり、以前はシンプルな紺地などが中心だった。懇親会などの会場として地

元の利用客が多いため、今回は親しみやすい身近なデザインを採用。2階にあるロビーと大・中・小の各宴会場を合わせた約1550平方メートルで、今月上旬に4日間かけて作業した。

「国包建具」の格子戸をイメージさせるデザインを採用したカーペット。いずれも加古川市加古川町溝之口

国包建具は加古川舟運の船着き場として栄えた国包地区で約190年の歴史を誇り、大宴会場のモチーフにした。クロマツの丸紋は吹き抜ける風をあしらった曲線とともにロビーに配し、郷土の魅力を発信している。

ほかには志方の山々に咲く「ささゆり」も取り入れており、勝浦司総支配人(59)は「このホテルで『加古川』を感じ、より親しみを持ってもらえたらうれしい」と話している。

(井上太郎)

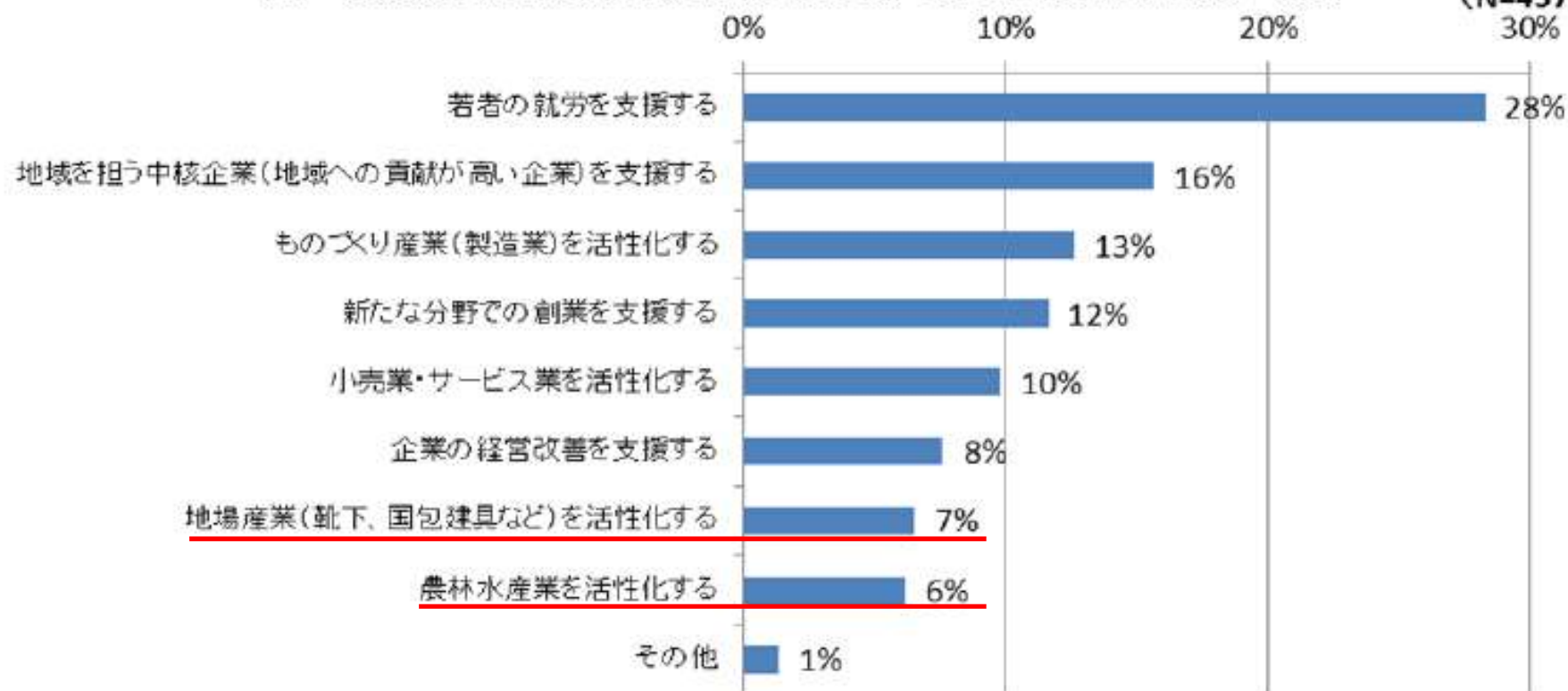
神戸新聞
2015年
8月25日

平成27年度第1回加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議 加古川市ホームページ

- 若者の就労支援が最も重視されている。その他、中核企業の育成、ものづくり産業の振興、創業支援などが重視されている。

(4) 安定した雇用を創出するためにどういったことに力を入れるべきか

(N=457)
30%



町活性化への取り組み

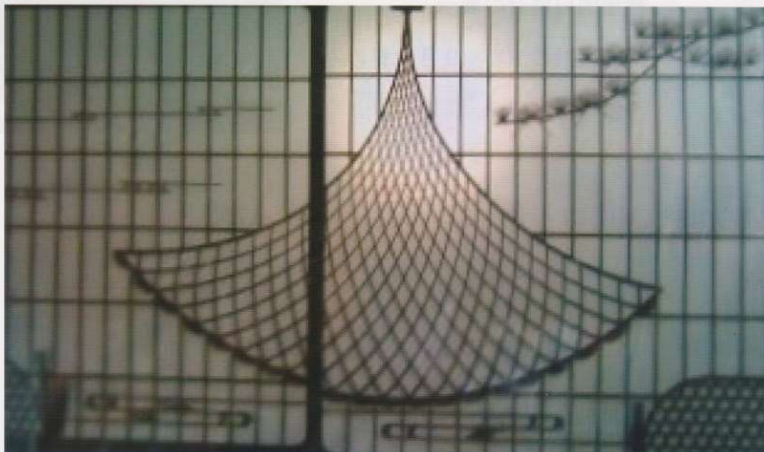
第1回 国包伝統文化祭

国包の有志60名で実施

出展作品も国包在住者より

国包伝統文化祭2015

国包伝統文化祭 亀之井200年プレイベント（八潮祭）



国包建具



藤原向意氏 作品

裏面に案内があります

内 容：播州国包建具の組子の展示・組立体験

美術作家藤原向意氏の作品展示

播州国包屋台の展示

風龍太鼓の演奏（9月6日のみ）

募集作品の展示



風龍太鼓

開催日時：平成 27 年 9 月 5 日（土） 10 時～17 時

9 月 6 日（日） 9 時～15 時

開催場所：加古川市上荘町国包 8 番地 国包公会堂



アクセス：JR 加古川線厄神駅下車 徒歩 15 分

車 東播磨道八幡稲美インターチェンジ下車 10 分

主催：国包けやきの会

共催：亀之井水利組合・国包町内会

後援：加古川市・加古川市教育委員会

国包伝統文化祭プログラム

亀ノ井堰200年イベント

9月5日 (土)	場 所
作品展示(10時～17時)	大ホール他
10:00 開会式	玄関前
国包祭り太鼓	前庭
国包けやきの会会長挨拶 来賓挨拶(加古川市教育長)	前庭
10:30 バザーの開始(商品がなくなるまで) 模擬店・お茶席の開始	夢広場
11:00 東播磨県民局長・副局長来場予定 組子組み立て体験	前庭
12:00	
13:00	
14:00 組子組み立て体験	前庭
14:30 加古川市長来場予定	
15:00	
17:00 閉館	

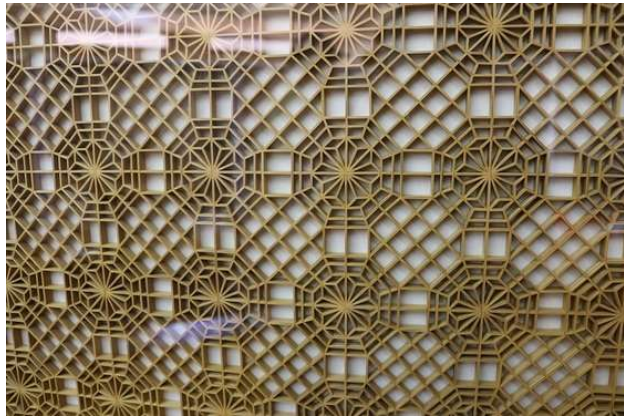
9月6日 (日)	場 所
9:00 作品展示(9時～15時) 開館	大ホール他
9:30 組子組み立て体験	前庭
10:30 風龍太鼓演奏	前庭
11:00	
12:00	
13:00 組子組み立て体験	前庭
14:00	
14:30	
15:00 閉会式	玄関前
国包けやきの会副会長挨拶	

9月5日 午前

けやきの会 藤原忠悟会長挨拶
来賓挨拶 渡海紀三朗衆議院議員、加古川市教育長、市議会議員







「国包建具」の伝統工芸品集まる 加古川で文化祭



コースターづくりに挑戦する子どもら＝加古川市上荘町国包

兵庫県加古川市上荘町国包地区の伝統工芸「国包建具」の工芸品や住民による作品を集めた、初めての「国包（くにかね）伝統文化祭」が5日、同町の国包公会堂で始まった。建具職人や子どもら約80人が約350点を出品。くぎを使わず木を組み立てる「組子（くみこ）」の体験会や模擬店もあった。6日まで。（辰巳直之）

伝統文化を守り、地域を元気にしようと、住民や地区出身者の有志約50人でつくる「国包けやきの会」が企画。同地区は江戸時代から舟運の船着き場として栄え、

木材が多く流通したことから建具製作が盛んになった。しかし、近年は規格品に押され気味で、職人も減りつつあるという。

同会会長の藤原忠悟さん（63）は「5年、10年先を見据えた取り組みだ。活性化の契機にしたい」と話す。

会場では、職人による引き戸や欄間などの工芸品のほか、住民らの書や絵画などを展示。「半立体」の絵画で知られる加古川市在住の美術家藤原向蔵（さきお）さんの作品も並んだ。

組子のコースターづくりに挑戦した八幡小学校5年の女子児童（11）は「難しかったけど、かわいい形にできた」と笑顔で話していた。

午前9時～午後3時。地元の和太鼓グループ「風龍太鼓」による演奏は午前10時半開始。町内会長の松本さんTEL 079・438・7038

神戸新聞
2015年9月6日

地方のなかの小さな地域をどう創生するか？
人口を増やし活気ある町に

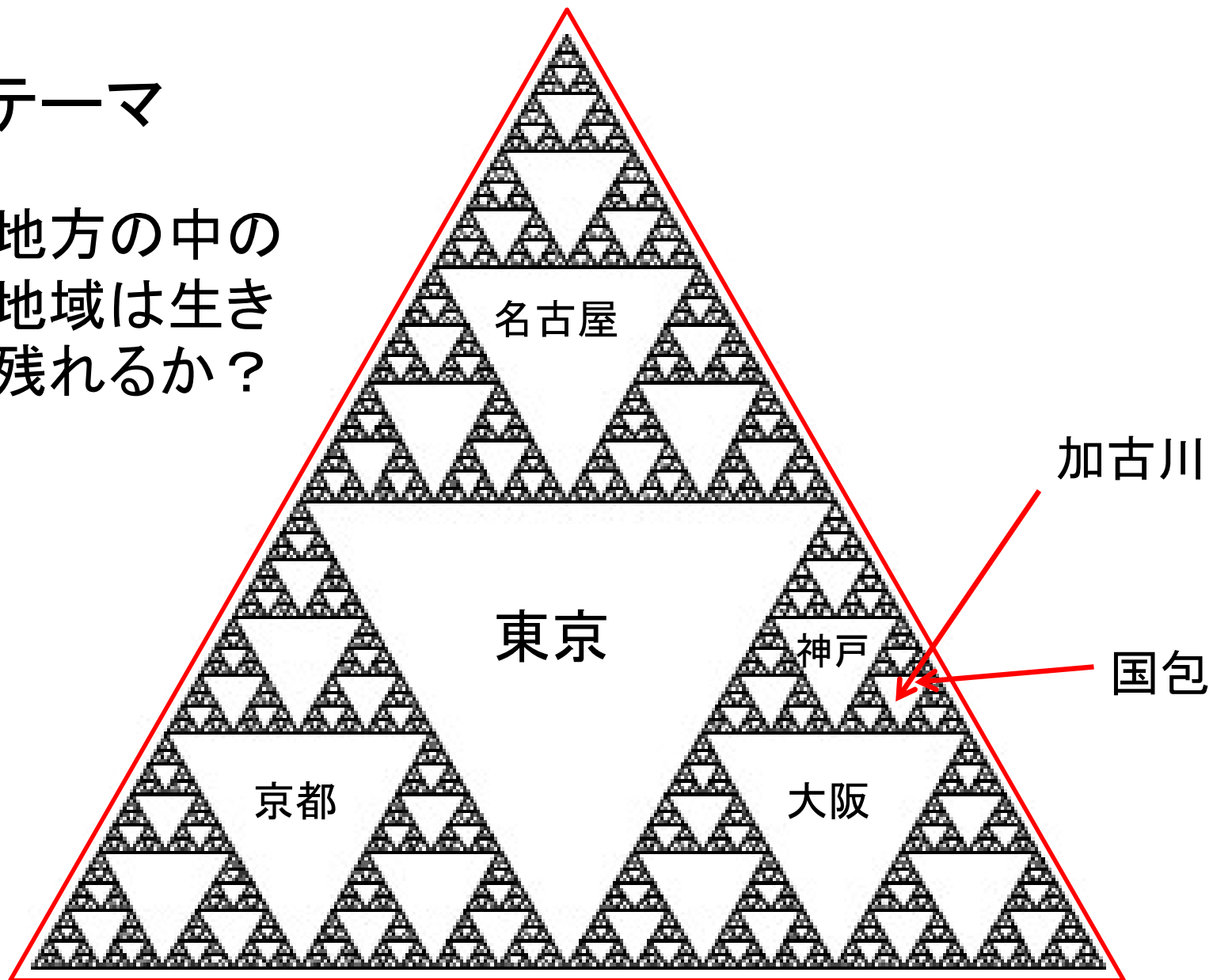
地域社会の結束力強化
住み良い国包に

地域経済
地場産業・国包建具の振興

国包の認知度向上
国包建具、レガッタ、加古川マラソン折り返し点など

テーマ

地方の中の
地域は生き
残れるか？



地域発展の三つの要素

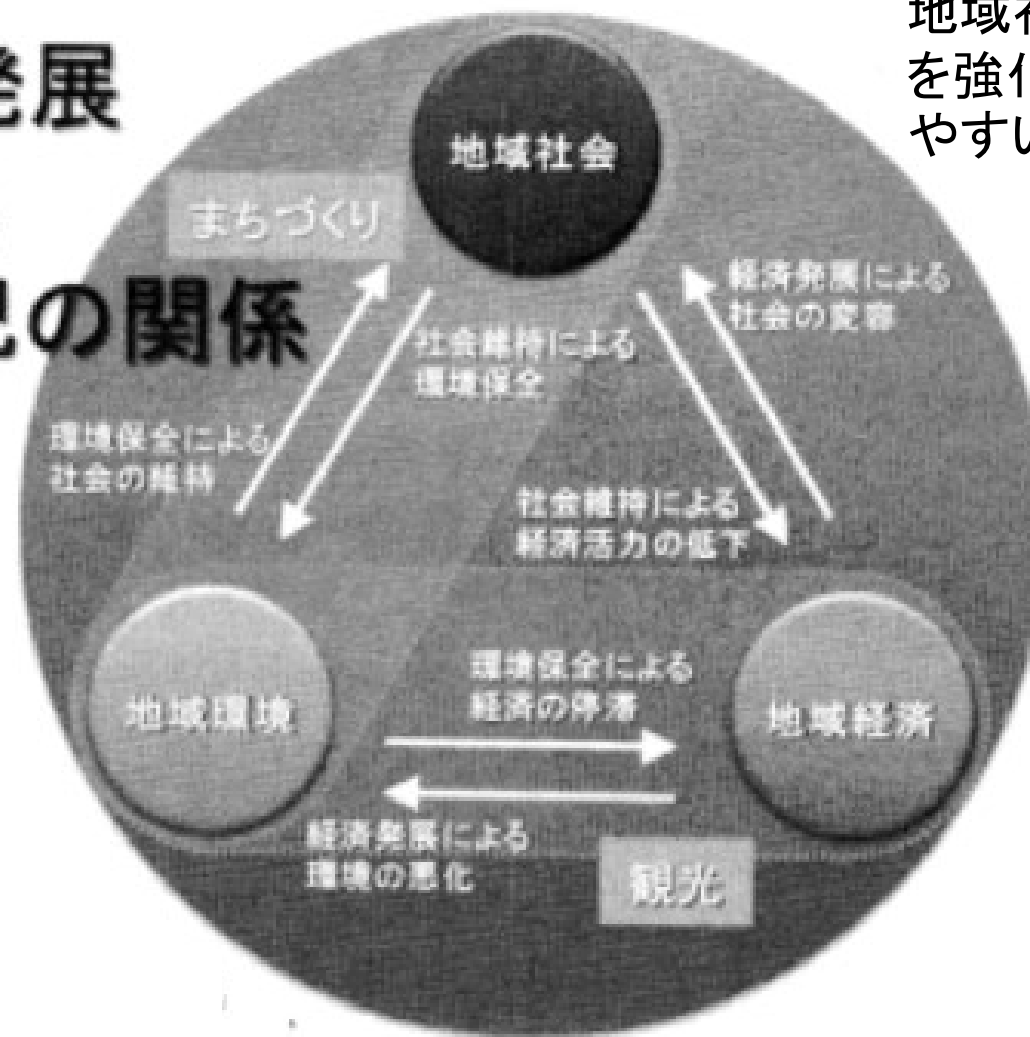
地域発展



三つ巴の関係

国包においては
3者が協働で

外部の人に存在
を知ってもらえる
町に



地域社会の結束力
を強化し、より住み
やすい町に

地場産業・国包
建具の再興を

出所: 観光まちづくり(学芸出版社、2009年)
中小企業診断士理論政策更新研修(平成27年度)

地域社会の結束力強化 住み良い町・国包に

強み

- 住民同士が顔見知りであり住みやすい
- 国包建具が地場産業として認識されている
- 山陽自動車道・東播磨南北道に近い

弱み

- 住宅建築に制約がある
- 車がなければ移動が大変
- 下水道が完備されていない
- 農地の有効利用がなされていない

機会

- 「国包伝統文化祭」の勢いが継続するか
- 隣接する八幡町には小売店舗や喫茶店、病院などが進出してきている

脅威

- 人口減少と高齢化が徐々に進んでいる
- 大学になると若者が町を離れる

道路時刻表



予 0分 予 予想所要時間
 4 0分 4 現況所要時間
 JR
 東播磨南北道路

すごく南北地域が近くなるんだ！！



地域経済

地場産業・国包建具の振興

事業者がまとまり後継者を育てる工夫が必要。

国包建具の存在と素晴らしさを広く知ってもらう仕組みづくり必要がある。

建具屋が弱い結びつきで機能分担し、国包建具の製品力を強化する必要がある。

播州国包建具事業協同組合、建具屋でホームページを開いているところなし。

「1953年（昭和28年） 国包建具協同組合技能者養成所開所式」が継続しているとは思えない。

地域創生の機会を有効に利用する努力が必要。

加古川市地方創生戦略案

神戸新聞 2015年8月29日

加古川市の地方創生戦略案の一例

加古川河川敷にバーベキューサイトを整備

東京圏で東播磨物産展を開催

日岡山公園周辺を「夢をはぐくむ公園」に再整備

情報機器を使い、在宅でできる仕事の創出

不妊・不育治療費の助成

国内外のアーティストを招き滞在中の活動を支援

未利用地を活用し、地場産市場(まちのえき)を設置

空き家や古民家を活用したまちづくりの支援

基本目標

結婚・出産・子育て
安全安心と地域連携
地域への人の流れの創出
安定雇用の創出

国包の認知度向上

国包建具、レガッタ、加古川マラソン折り返し点など

レガッタ

市民レガッタ、大学対抗レガッタが開催される。年に数回、国包公会堂で大学生が合宿している。



加古川マラソン

平成26年 フルマラソン(登録)(完走者数:687名)フルマラソン(一般)(完走者数:3138名)

アピール・ポイントを整理し物語を紡ぐ

国包の歴史

国包は加古川舟運と湯山街道の交差点

加古川舟運 湯山街道 国包村明細帳

国包川辺実況図(嘉永) 加古川改修工事平面図(全般、部分)

亀之井用水 築山神社 常観寺 教泉寺 せいめいさん

国包の渡し(昭和初期) 国包鉄橋を渡る列車 国包駅 公会堂横の櫓

国包の地図 文化8年(左図、右図) 明治16年 昭和38年 昭和55年

昭和初期の家の並びと町並み 現在の町並み

大正～昭和初期の国包周辺の風景(畑健夫写真集)

YouTube 国包の鉄橋 三木鉄道(宗佐－国包、国包－厄神、三木－厄神)

YouTube 国包の屋台 火の見櫓 漕艇センター レガッタ

国包の苗字「畑」「畠」「秦」

http://www.alchemist.jp/kunikanenouhou/kunikane_gaiyou.html